

公益財団法人天野工業技術研究所

Amano Institute of Technology

代表者 理事長 川幡 長勝、所長 鏑木 實

所在地 〒431-1305 静岡県浜松市北区細江町気賀7955-98

人 員 9名(うち研究員3名)

設 立 昭和36年3月9日

電 話 053-523-1171

F A X 053-523-0556

HP <http://zai-amano.or.jp/>

【はじめに】

当財団は、アマノ株式会社の創業者、故天野修一氏（昭和51年12月没、享年86才）がその生前昭和36年に工業技術に関する研究開発、研究助成ならびに工業教育の奨励を目的として、私財の一部を投じて設立した試験研究法人である。研究所は設立以来横浜市にて事業活動を行ってきたが、昭和54年10月奥浜名湖畔の当地に移転し、平成25年4月1日から公益財団法人として、再スタートした。

【事業概要】

事業活動は公益事業として試験研究、研究助成並びに奨学、収益事業として企業との連携、法人運営の三つの分野にわたっている。

【試験研究事業】

設立以来時代のニーズを先取りして、大気汚染防止、火災予防、騒音振動防止、身障者用機器など公害防止、社会福祉、省力化、代替エネルギーなどに係る幾多のテーマに取り組んできた。近年は自主研究、受託研究とも機電の接点、メカトロニクス分野に研究テーマを絞っている。その具体例としては、各種エンジンならびにそれらの材料、部品の性能試験用機器[小型から500HPまでの渦電流電気動力計（特に超小型、横軸縦軸兼用型、エネルギー回収型など特殊なものを含む）燃費計、バルブシート試験機、バルブガイド試験機、トルクコンバータ試験機、ターボチャージャ試験機、エンジン試験用運転制御装置など]、代替エネルギー関連機器として風力タービン発熱機、波浪発熱機、風力計などがあげられる。

【研究助成事業】

大学またはそれに準ずる研究機関に在籍する研究者を対象として工業技術に関する研究対

して助成を行っている。

【奨学事業】

理工系大学院博士課程の学生、全国高等専門学校生並びに神奈川、静岡、三重、岩手、宮城、福島県及び熊本県下の工業高等学校の生徒を対象として、奨学金を給付している。

【予 算】

年間の総事業費は約325,000,000円、うち公益事目的業費（研究開発費、研究助成金、奨学金）は約303,000,000円である。（平成28年度）

【所外への研究発表】

年一回「年次報告」を発行し、関係各方面に広く配布している。

【企業との連携】

例年外部からの研究、試作の受託先は自動車、重工業、機械部品製造、石油精製、官公庁ならびに大学など十数箇所にとんでいる。

【おわりに】

今後、当財団が公益のための試験研究法人として、工業技術の発展に寄与すると共に、助成・奨学事業による人材育成等、より一層社会に貢献できるよう、研究所機能の充実に努め、規模の拡大を計っていきたい。



天野工業技術研究所新館 全景（平成26年5月14日）